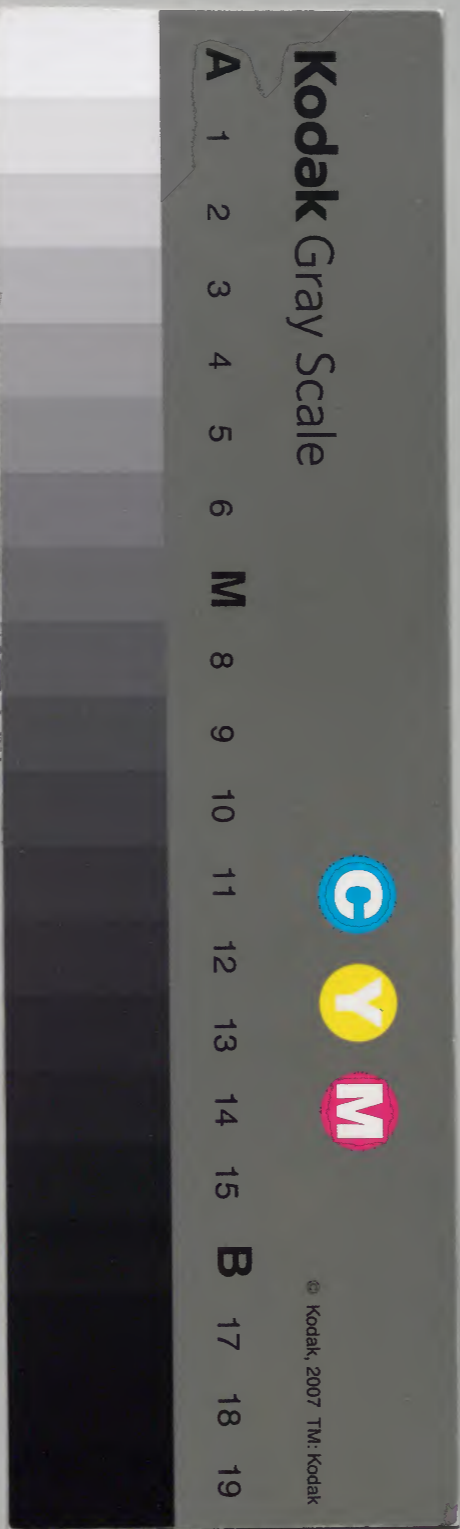


落原拾葉

百二十八
百二十一

庫文閣内			
二九	二五	二八	和書類
函架	冊	號	
一九	二三	六	

内閣文庫			
番號	和	29568	
冊數	23 (23)		
函號	174	228	



海軍校
百十八
至百二十

箕輪記序

世之學者精于漢者必疎于和精于和者必疎

于漢和漢兼精焉者海內幾人在吾邦則中邨

先生也先生浩博凡於和漢之事據蹟索隱見

於人之不能見發於人之不能發預官督學之

暇纂錄以為堆矣嚮亦著一書命曰箕輪記使

余為叙余受而讀之其古城戰跡萬夫之傑百

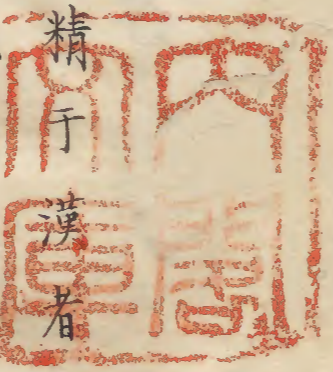
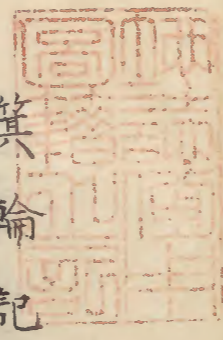
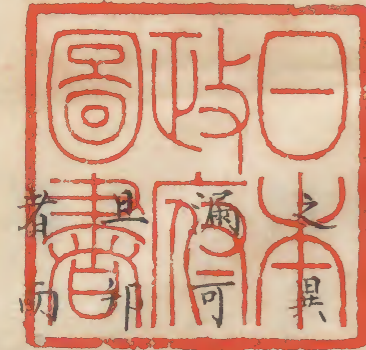
夫之防或來或去或失或得姓氏之紕繆名言

同事無雅俗關係於箕輪焉者考校無遺

謂詳悉矣其以國字記之乃為便於世俗

事也是實先生之士苴耳然而欲知箕輪

得之崇朝而釋然余生長箕輪之地喜此



丙子七月廿七日

舉殊甚於人於是為之序
天保四年癸巳李秋
宮下肅謹撰

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

落原拾葉卷之百十八

信濃

中村元恒編

男元起校

箕輪記

藤澤氏来由

箕輪の地を藤澤氏世傳にせり
藤澤氏は福島の地小
りしに治承四年亦有義仲
中務省小
勃興し藤澤氏と稱せし
伊那郡大田切
地を世官冠者古別
平家方の方人
なりしは是
藤澤氏と
なりしなり
藤澤氏の
藤澤氏の
藤澤氏の
藤澤氏の

[Marginal notes on the left side of the page]

東



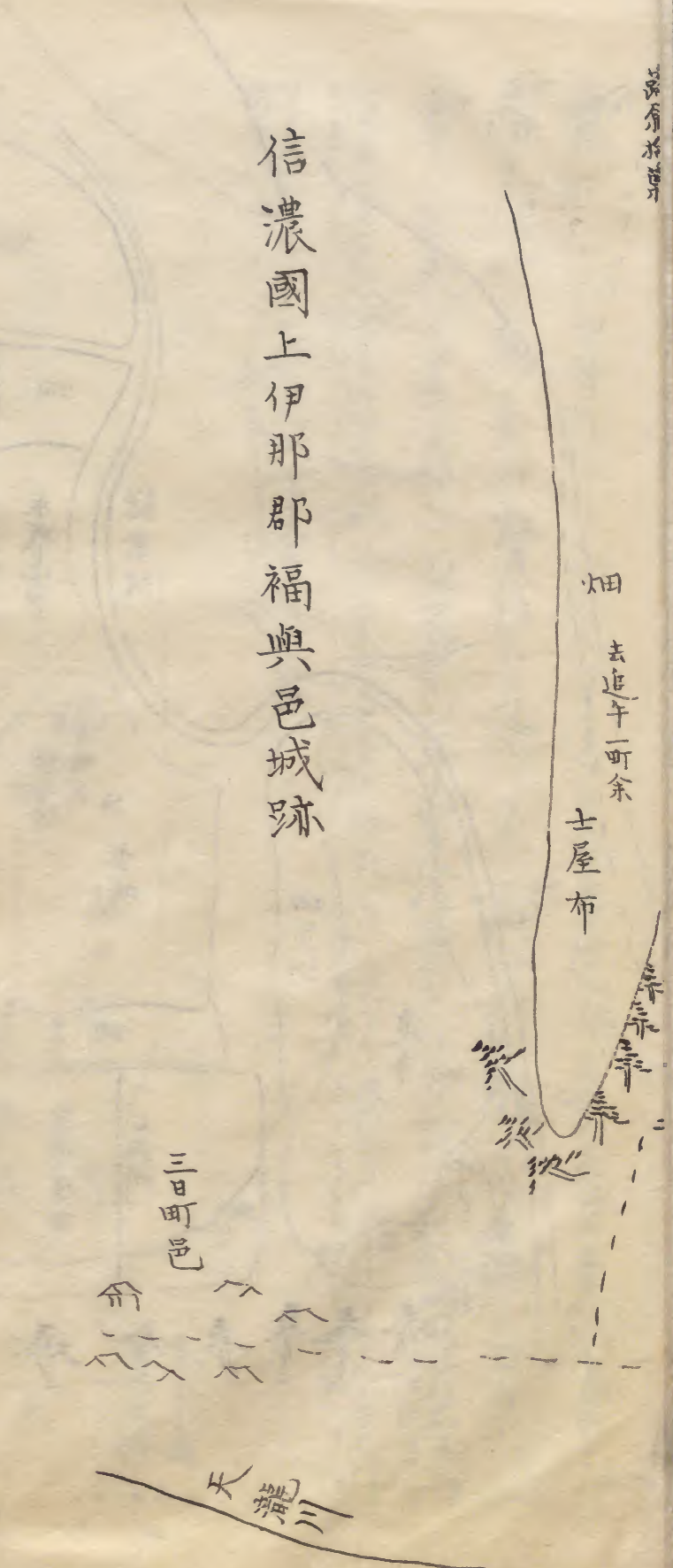
是ヨリ西
田中城跡アリ

此の地は... (handwritten notes describing the land)

宗仙畑
アコウヤシキ
本城下地面
鎌倉沢
本城
御ウラヤシキ
追手畑
家老屋布
右白断
西ノホ畑
士屋布
土居

長...

信濃國上伊那郡福與邑城跡



此の系景河のほとりなる所なり
と付ると擬と村を所
と密小中なる志河通
等

本方より陸中へき
と討んと大田切と
と密小中なる志河通
等

甲州の織田氏麾下の

志は新田氏の領地を奪取し、その領地を拡大する

利河内と新田氏の領地をめぐり、

伊那郡の領地をめぐり、

予向の領地をめぐり、新田氏の領地をめぐり、
政下も、新田氏の領地をめぐり、

藤澤頼親福共の意

歳福をめぐり、新田氏の領地をめぐり、
上りえ、新田氏の領地をめぐり、
少宗氏と新田氏の領地をめぐり、
新田氏の領地をめぐり、
新田氏の領地をめぐり、
新田氏の領地をめぐり、

伊豆の少宗氏と新田氏の領地をめぐり、

伊豆の少宗氏と新田氏の領地をめぐり、

伊豆の少宗氏と新田氏の領地をめぐり、

伊豆の少宗氏と新田氏の領地をめぐり、

伊豆の少宗氏と新田氏の領地をめぐり、

伊豆の少宗氏と新田氏の領地をめぐり、

伊豆の少宗氏と新田氏の領地をめぐり、

伊豆の少宗氏と新田氏の領地をめぐり、

伊豆の少宗氏と新田氏の領地をめぐり、

伊豆の少宗氏と新田氏の領地をめぐり、

伊豆の少宗氏と新田氏の領地をめぐり、

伊豆の少宗氏と新田氏の領地をめぐり、

